

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

会社名
所在地
担当者
電話番号
FAX 番号
緊急連絡先
作成日
改訂日

製品名：AZ 防水スプレー

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性、引火性エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性、刺激性

区分 2

眼に対する重篤な損傷、眼刺激

区分 2

生殖毒性

区分 2

特定標的臓器、全身毒性（単回ばく露）

区分 2

区分 3(気道刺激性、麻酔作用)

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）

区分 1

水生環境有害性（長期間）

区分 3

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

H229: 高压容器

H315: 皮膚刺激

H319: 強い眼刺激

H360: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H371: 臓器の障害のおそれ

H335: 呼吸器への刺激の恐れ

H336: 眠気又はめまいのおそれ

H400: 水生生物に非常に強い毒性

H412: 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

応急措置 p.2 に記載

取り扱い p.2 に記載

保管 p.3 に記載

廃棄 p.3 に記載

3. 組成及び成分情報	
単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	石油系溶剤、噴射剤 (LPG)
CAS No.	企業秘密のため非公表
消防法	危険物第4類第1石油類 危険等級II
国連番号	1950
労働安全衛生法	通知対象物：シクロヘキサン(60～70%)、ブタン(噴射剤)
P R T R法	非該当
4. 応急措置	
吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合：	口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
眼に入った場合：	水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合固着してなければ外す。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。
皮膚にかかった場合：	水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。 腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置	
消火方法：	速やかに容器を安全な場所に移す。 消火に棒状の水を使用してはならない。 初期の消火には下記の消火剤を用いる。
消火剤：	霧状強化剤、粉末、炭酸ガス
6. 漏出時の措置	
	保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から作業する。 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。 土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。 浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源になるものは速やかに取り除く。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取り扱い：	関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。 製品の使用中、飲食および喫煙しない。 熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。 必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。 屋外または通気性が良い場所で使用する。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。 使用後は手洗いを十分する。
保管：	屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 ふたを必ず密閉する ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH (TLV-TWA)
シクロヘキサン	設定されていない	150ppm (520mg/m ³)	100ppm
設備対策	排気装置を設けるか通気性を良くする。 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。		
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。		
保護眼鏡	必要であれば着用する。		
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。		
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。		

9. 物理的及び化学的性質

外観等	無色透明液体、溶剤臭
揮発性	あり
蒸気圧	データなし
密度	データなし
溶解度	水に不溶
引火点	-30℃以下
発火点	260℃
爆発限界	データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性	引火しやすい。 蒸気は低所に滞留し、地表面に添って移動し、着火源があると引火爆発を起こす恐れがある。
自己反応性	なし
酸化性	なし
安定性	安定
反応性	強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

刺激性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
急性毒性	経口 シクロヘキサン LD ₅₀ >7730mg/kg(ラット))
慢性毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
感作性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
変異原性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
催奇形性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。
生殖毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。

12. 環境影響情報

分解性、蓄積性、魚毒性：混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。さらに関連法令に従った措置も講じる。

15. 適用法令	航空法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・高圧ガス 引火性ガス 分類 2 区分 2.1 船舶安全法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ガス類 引火性ガス 分類 2 区分 2.1 海洋汚染防止法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・油分排出規制（原則禁止） 下水道法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・鉱油類排出規制 水質汚濁防止法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・油分排出規制 廃棄物の処理および清掃に関する法律・・・・・産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止） 労働安全衛生法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・通知対象物：シクロヘキサン、ブタン(噴射剤) 消防法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・危険物第 4 類第 1 石油類、危険等級 II
----------	---

16. その他

参考文献

1. 製品安全データシートの作成指針（日本化学工業協会）
2. GHS 対応による混合物（化学物質）の作成手法の研修テキスト（改訂版）
（中央労働災害防止協会）

3. 原料の SDS

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常取り扱いを想定して作成したものです。
SDS は安全の保証を約束するものではありません。
取扱者は状況に応じて使用してください。
SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。
